

# あいの里西小学校いじめ防止基本方針

いじめ防止対策委員会

## はじめに

あいの里西小学校は、「いじめは、どの学校でも、どの学級にも、どの児童にも起こりうる」という基本認識に立ち、本校の児童が楽しく心豊かな学校生活を送ることができ、アイ(学び合い・助け合い・やりがい)がいっぱいの学校をつくるために「札幌市立あいの里西小学校いじめ防止基本方針」を策定します。

## あいの里西の子どもたちのすがた

- 児童数約 450 名、19 学級の中規模校である。緑豊かな「あいの里西公園」をはじめ、小さな公園が校区内に点在し、学年を越えて仲良く遊ぶ姿が見られる。平成29年度より、学習習慣や生活リズムの改善を図ることを目的に「新あいの里西スタンダード」を作成している。
- 「より確かに！より豊かに！より健やかに！『心身共にたくましい子ども』の育成～あいさつ・笑顔・夢がいっぱいの学校～」を重点目標に掲げ、教育活動を進めている。

## 本校のいじめ対応の実態

- 人間関係のトラブルが起きた場合、担任が中心となり関係児童との「面談」を細かに進め、正確な事実関係の確認を行っている。さらに、できるだけ早い対応を心がけ、保護者との連絡を密にするようにしている。また、軽微な事例についても情報を共有して、チームとして対応にあたるよう心がけている。

	重点的・具体的な取組	行動計画・行動目標	中心となる教員
未然防止	○授業改善	○授業中の「体験活動」を重視し学習に対する達成感・成就感を育てるとともに、他者や社会、自然との直接的な関わりを通して、感動する心、共に生きる喜びに児童自身が気付けるようにする。	学級担任
	○豊かな心の育成	○異学年交流(ファミリー活動)、小中連携、幼保小連携、特別支援学級との交流を計画的に実施し人と人とのつながりの大切さを実感できるようにする。	交流活動部 教務主任
	○道徳学習の充実	○命の大切さ、思いやりの心、児童一人一人がかげがいのない存在であるといったことを道徳の学習や学級活動を通して育み、いじめの未然防止につとめる。	道徳推進教諭 生活創造部

	○児童会活動の活発化	○人と人との結びつきの基本である「あいさつ」の指導を重視し、児童会活動による登校時の「あいさつ」運動の活動を推進し、「自分から挨拶ができる児童」を育てる。	生活創造部
	○児童からの発信	○児童会が中心となった「いじめゼロ宣言」、「児童集会」や「あいさつ運動」などを通して、一人一人の自己有用感を高める。	生活創造部
早期発見	○子どもとのかかわり	○児童一人一人の心の変化に気付く、ふれあいの場面を数多くもつように努める。 ○児童が心を開き、すぐに相談しやすい「環境づくり」につとめる。	全職員
	○アンケート等の実施	○年3回の子どもアンケートの中でいじめにつながる兆候を発見する。また、「悩みいじめに関する調査」を活用し、迅速な対応に役立てる。	教務・管理部
	○保護者とのかかわり	○家庭訪問・懇談会・教育相談等の機会やスクールカウンセラーの来校を伝えることを通して、保護者が相談しやすい環境整備に努める。	学級担任 学びの支援コーディネーター
いじめへの対応	○正確な事実確認	○当事者双方、さらには見ていた児童などから聞き取りを行い、事実関係を早期かつ正確に把握するように努める。	いじめ防止対策委員会
	○迅速な組織対応	○学校として、「いじめ防止対策委員会」を中心とした組織的な体制のもと、「チーム」として迅速かつ的確な対応を行う。	いじめ防止対策委員会
	○被害児童への対応	○安全確保 ○スクールカウンセラーとの連携 ○必要に応じて外部機関との連携を図り、対応に当たる。 ○児童本人及び保護者の了解のもと、学級・学年指導を行い、よりよい「集団づくり」の推進を図る。	学級担任 いじめ防止対策委員会
	○加害児童への対応	○被害児童の気持ちを理解させていく。 ○本人の「いじめ」の背景にある要因を理解し、保護者との連携のもと、継続的に全職員で支援していく。	学級担任 いじめ防止対策委員会
	○いじめ対応の振り返りの重視	○「いじめ」の対応事例を通して「児童理解の研修会」等を行う。	いじめ防止対策委員会